

熊本に誇れるチームを

熊本ヴォルターズが町を表敬訪問

本年7月から町総合体育館を使用し、練習を行っているプロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」が8月7日来庁し、住永町長を表敬訪問しました。

平成24年6月に同チームは、男子バスケットボールのトップリーグにあたるNBL(ナショナルバスケットボールリーグ)に参入。NBLは本年初始動のリーグで、九州からの参加は熊本ヴォルターズのみ。全国のトップチームが全12チーム参加し、日本一を目指します。

9月28日からNBLレギュラーシーズンが開幕し、同チームは10月19日の第4節つくば戦をはじめ、町総合体育館で年間20試合を戦います。



表敬訪問した熊本ヴォルターズの選手のみなさん

日本の文化を世界に

荒木桃園さんがグランプリ作品を寄贈



グランプリ作品を町に寄贈した荒木さん(写真左)

熊本日日新聞社が主催する「第32回熊日新鋭学童書道展」で新鋭の部グランプリを獲得した荒木桃園さん(馬水)が7月16日、住永町長を表敬訪問しました。

普段は主に県外のコンテストに出展している荒木さん。「地元で獲得した賞なので、町に貢献したい」との思いからグランプリに輝いた篆刻作品「野鶴弧雲」を町に寄贈しました。

「他にも書道、水墨画を勉強している。一流のアーティストになって、自分の作品で世界に日本の文化を伝えたい」と瞳を輝かせました。

寄贈された作品は、町保健福祉センターに展示されています。(展示期間は未定)

町立第4保育所(福永ひろみ所長)で8月9日、年長組の子どもたち22人と、木山老人クラブ(梅田隆義会長)の会員7人が一緒に竹の水でつぼうを作り、水遊びを楽しみました。竹を使った昔ながらの遊びを、今の子どもたちに知って楽しんでもらいたいと、同クラブが毎年行っています。前日に調達した竹を材料に、同クラブ会員は、慣れた手つきで水でつぼうを作成。今ではあまり見ることのない形の水でつぼうの前に、子どもたちも興味を持って手伝いました。その後、水でつぼうを片手に子どもたちが水を飛ばしあうと、園庭に準備されたプールは、にぎやかな笑い声に包まれました。



空高く上がる水にはしゃぐ子どもたち

水しぶきに大はしゃぎ

第4保育所で昔ながらの水でつぼう作り